

がん患者・家族向け冊子『もっと知ってほしい 白血病のこと』作成

特定非営利活動法人がんセンターネットジャパン（以下、CNJ）は、白血病について科学的根拠に基づいた正しい情報を提供することを目的として、アヴヴィ合同会社の制作支援、日本イーライリリー株式会社株式会社毎日放送の協力のもと、一般社団法人日本血液学会、一般社団法人日本造血細胞移植学会の後援を受け、冊子『もっと知ってほしい 白血病のこと』を製作しました。



白血病は血液がんの一種で、血液が作られる過程で遺伝子や染色体に傷がつくことで発症します。主に急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病の4種類があり、それぞれ病気のタイプにより治療法が異なります。近年、血液がんの治療の進歩は目覚ましく、中でも慢性骨髄性白血病の治療成績は飛躍的に改善しました。

『もっと知ってほしい白血病のこと』は、近畿大学医学部 血液・膠原病内科 主任教授 松村到先生監修のもと、白血病の各疾患概要から、検査法、標準的治療法、副作用等について、白血病患者や家族、患者支援に携わる方々が知っておきたい情報を、20ページにまとめています。また、白血病の患者さんによる体験談を“Patients Voice（患者の声）”として掲載しています。

本冊子の製作は、米国で患者・家族に広く利用されているNCI（National Cancer Institute）発刊の冊子などを参考に患者・家族が納得して意思決定し、自分らしくがんと向き合えるように、そして自らの病気や治療法を知り学ぶことができるものを目指しました。

この冊子は、がんセンターネットジャパンのウェブサイト <http://www.cancernet.jp/publish> や、CNJが運営するがん医療情報サイト、「がんチャンネル」<http://www.cancerchannel.jp>、血液がんの特設サイト「もっと知ってほしい血液のがんのこと」<http://www.cancernet.jp/hematologiccancer/frontpage> からも無料でダウンロードが可能です。

この「もっと知ってほしいシリーズ冊子」は本冊子を含め全25種となり、全国のがん診療連携拠点病院での設置率も約96.6%と、多くの方に利用していただけるようになりました。私たちの冊子が、今まさに治療と向き合っている方々の一助となることを願っています。

認定 NPO 法人がんセンターネットジャパン

1991年に、二人の医師により、米国における乳がん患者向け冊子を翻訳・出版・無償配布したことに始まり、以来、FAX、Eメールによるセカンドオピニオンサービス、NCIPDQの翻訳Web公開（現在は終了）等で標準治療の普及に貢献してきた。2001年にNPO法人化、同年ホームページが日経インターネットアワードを受賞。2007年1月からは組織を一新し、専用事務局を開設し、がん医療の啓発イベントの開催、教育事業等を通して、一貫して「科学的根拠に基づくがん医療の普及啓発」に取り組む。これらの活動を通して、がんと向き合う人々が、自分らしくがんと向き合える社会を実現することを目指している。がんの最新情報発信のため2014年から毎年夏に開催しているCancer Forumは、2,000名以上の参加者が集い、がん患者・家族らのための最大級のイベントとなっている。2016年8月、認定NPO法人となる。

¹ がんセンターネットジャパン 2015年 がん診療連携拠点病院アンケート調査より

【冊子に関するお問い合わせ先】

認定 NPO 法人がんセンターネットジャパン

Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073